

ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和4年10月31日発行

(本年度8号)



城北中学校区小中一貫教育目標

自らの未来を切り拓く「生きる力」を身に付ける

2学期折り返し・・・がんばる福井っ子

天候が心配された今年の運動会…。開催中はなんとか雨も降らず、子ども達が全力で頑張る姿をたくさん見ることができました。朝早くからPTA本部や専門部の役員様にご協力をいただき準備を進めましたが、準備の最中も雨が降ったり止んだりを繰り返しました。開会式間際にも雨が降りましたが、たくさんの方にグラウンドの水取りをお世話になりました。率先してスポンジを手で水たまりにしゃがんでくださる姿から、学校の行事が実施できるのも、保護者の皆様の支えがあればこそだと実感しました。お陰様で少しの遅延で開会式を始めることができました。



運動会が始まると、子ども達の元気いっぱい活動する様子が見られました。小学校生活初めての運動会だった1年生。徒競走や大玉転がしなど、他学年と協力しながら活躍しました。1・2・3年生の演技は「みんなにサチアレ～ハッピーピース～」でした。キラキラのチアポンポンを両手に持ち、リズムよく身体を動かしながら、見る者が思わず笑顔になるようなダンスを披露しました。6年生にとっては小学校生活最後の運動会となりました。最高学年として競技だけでなく委員会の仕事を5年生と協力しながら、自分の役割をしっかりと果たしていました。リレーや児童会種目など様々な場面で、下級生の手本となるよう意識して活動できました。4・5・6年生の演技は「元氣よ届け～福井ソーラン～」でした。体操と踊りをミックスした構成でしたが、体操パートではコロナ禍の影響で組技ができず一人技になりました。しかし、全員で手足の動きを揃えて演技しました。南中ソーランでは、法被をひるがえし躍動感のある演技を披露しました。気合が入った本番の演技は、素晴らしい出来栄でした。「ハッピー…」も「ソーラン…」も、子ども達はたくさんの観客を前に緊張した様子でしたが、全力で演技ができ、ファイナルでは充実した笑顔を見せながらグラウンドを回る姿が印象的でした。保護者の皆様には、早朝より子どもたちに温かいご声援をありがとうございました。ご家庭での協力や励ましのお陰で、素晴らしい運動会になりました。また、PTAの役員・専門部の皆様には準備から受付、競技の補助、後片付けとご尽力いただきました。一般保護者の皆様にも、体温チェックや観覧、駐車、さらに片付けとご協力くださり心より感謝いたします。ありがとうございました。

10月はその他にも、1・2年生「ようこそおもちゃランド」、4年生「福井やさしさ調査隊～車いす体験～身障者理解学習」、5年生「野外活動」「港湾見学」「夢・みらい実現講演会」「社会見学」、6年生「ふるさと学習」「城北祭合唱発表」など、たくさんの行事を実施しました。詳しくは学校HPにて…)

「夢・みらい実現講演会」では、城北中学校区小中一貫教育推進の取組として、福井・吉原・余内・明倫の各校5年生が余内小学校に集まり、舞鶴市役所観光課の堺谷様のお話を聞きました。野球選手を目指した学生時代のことや、市役所職員として舞鶴の観光資源開発に目標をもって頑張っていることなど、常に夢や目標をもって生きていくことの大切さについて興味深いお話を聞くことができました。



11月16日(水)には、学校と喜多公園(低学年は途中折り返し)を往復するコースで、校内マラソン大会を実施します。運動会後から本番に向けて朝マラソンや縄跳びの取組も始まっており練習を積み重ね完走した時の達成感や爽快感を感じてほしいと思います。また、11月5日(土)には舞鶴市小学生駅伝大会に6年生チームが参加します。様々な場面でがんばる子ども達を励まし見守っていただければと思います。

校長 波多野 暢 教職員一同